

令和5年度

# 事業報告書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

学校法人 志學館学園

# 目 次

<b>I 建学の精神</b>	<b>P.1</b>
<b>II みおしえ</b>	<b>P.1</b>
<b>III 志學館学園の概要</b>	<b>P.2～10</b>
1. 各学校の基本理念等	P.2～3
(1) 志學館大学	P.2
(2) 鹿児島女子短期大学	P.2
(3) 志學館高等部・中等部	P.3
(4) 鹿児島女子短期大学附属 かもめ幼稚園・なでしこ幼稚園・すみれ幼稚園	P.3
(5) なでしこ保育園	P.3
2. 志學館学園の沿革	P.4～5
3. 志學館学園の組織	P.6
4. 各学校等の所在地	P.6
5. 志學館学園の役員	P.7
6. 各学校の状況	P.8～10
(1) 令和 5 年度 入学定員・収容定員及び学生・生徒・園児数	P.8
(2) 令和 6 年度 入学定員・入学者数	P.9
(3) 令和 5 年度 教職員数	P.10
<b>IV 令和 5 年度 学校法人志學館学園 事業報告</b>	<b>P.11～29</b>
1. 令和 5 年度短期事業計画の進捗状況	P.11
2. 令和 5 年度短期事業計画の具体的な取組内容	P.12～16
(1) 志學館大学	P.12
(2) 鹿児島女子短期大学	P.12～13
(3) 志學館高等部・中等部	P.13
(4) 鹿児島女子短期大学附属かもめ幼稚園	P.14
(5) 鹿児島女子短期大学附属なでしこ幼稚園	P.14
(6) 鹿児島女子短期大学附属すみれ幼稚園	P.15
(7) なでしこ保育園	P.15
(8) 学園本部	P.16
(9) 6 か年施設設備投資計画事業執行状況	P.16
3. 令和 5 年度設置校別事業計画達成度評価	P.17～28
4. 令和 5 年度設置校別 KPI 達成度評価	P.29

<b>V 財務の概要</b>	<b>P.30～40</b>
1. 令和5年度決算の概要	P.30～32
① 事業活動収支計算書関係	P.33
② 資金収支計算書関係	P.34～35
③ 貸借対照表関係	P.36
2. その他	P.37
3. 定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分	P.38
4. 学校法人会計及び用語について（解説）	P.39
5. 監査報告書	P.40

## I 建学の精神

### 「時代に即応した堅実にして有為な人間の育成」

- 「時代に即応した」とは、情勢の変化に対応して、合理的で効果的、かつ弾力的な運用を図るべきことを意味する。
- 「堅実にして」とは、人間としての教養・徳をつけること、つまり人間としての豊かさ等を意味していると解釈する。
- 「有為な人間」とは、豊かな人間性の上に、健康な体、強い意志、創造力と企画力、集団への適応と貢献の能力、科学や情報に対する理解と技術、国際人としての教養等を身につけ、国家・社会の発展に寄与しうる人間、即ち「実用」と「教養」を実現できる総合力を身につけた人間をさすものである。

## II みおしえ

雪のごとく清らかに

月のごとく明らけく

花のごとく撫子の強くやさしく

創設者満田ユイは、「建学の精神」を具体的に実践する時の心構えとして親しみやすく理解するようにと、中国の詩人、白居易の詩を引用し、それになぞらえて「みおしえ」とした。根底に「人間愛」を含んだ上で、詩にある「雪、月、花」になぞらえて、雪は「清浄と貞節」を、月は「聡明な明るさと静寂」を、花は「大和撫子を現し、日本女性の美徳とやさしさと芯の強さを現すもの」として説明した。

しかし、1986年「建学の精神」の改訂を機に、今ではその女性的な文体表現にかかわらず「清く、明るく、強く、やさしく」というその内容が人間としての在り方、人の美しい生き方を表すものとして脈々と学園に継承されている。

現在「雪、月、花」は「建学の精神」を具体的に実践する時の心根を象徴するものとして、学園章・校章・学園旗及び校旗となっている。

### Ⅲ 志學館学園の概要

#### 1. 各学校の基本理念等

##### (1) 志學館大学

###### 【使命】

教養と実践的な専門の学芸を体系的に教授研究し、科学的・論理的思考法、現代社会に必要な技能及び総合的な問題発見・課題解決能力を身につけ、自主性・創造性と社会に貢献する態度・志向性を持っている堅実・誠実な職業人を育成する。

###### 【ディプロマ・ポリシー】

- 1 個性的かつ堅実な人間性、自主性、創造性が身につけている。
- 2 人類の文化、社会と自然に関する豊かな教養と科学的・論理的思考法、情報技術、コミュニケーション能力を身につけ、自ら学ぶことの喜びを知っている。
- 3 実践的で体系的な専門的知識と技能を身につけ、総合的な問題発見・課題解決能力を持っている。
- 4 職業観を持ち生涯を通じて学習し続ける能力を有している。
- 5 倫理観を持った市民として地域社会の発展に貢献する高い意識を持っている。
- 6 多様な言語・社会・文化を理解し、国際人として活躍する素地を持っている。

##### (2) 鹿児島女子短期大学

###### 【教育理念】

建学の精神の下、学園の伝統を継承しつつ、最新の知識と専門の学芸を教授研究し、創造力・実践力に富み、家庭に社会に個人の持つ可能性を具現できる高い教養と人間性豊かな女性を育成するとともに、国際的視点に立って社会の充実発展に寄与する人材の育成に努める。

###### 【教育目標】

- 1 豊かな情操と高い教養を培い、心身ともに健康で調和のとれた人間像を目指して自己啓発を促す。
- 2 現代生活に即した専門的知識と実践的スキルを習得させ、自ら課題に対応する能力と創造性の発揚に努める。
- 3 人間関係に適切に対応し得る能力を養成し、その能力を円滑に機能させる社会性を培う。
- 4 自ら判断し行動する主体性を涵養し、家庭や職場の有為な人材の育成に努める。
- 5 地域との密接な連携に基づく実践的教育により、地域活性化の意欲的な担い手の育成を目指す。
- 6 国際理解の教養と態度を育成し、洗練された国際人となる素地を習得させる。

### (3) 志學館高等部・中等部

#### 【教育理念】

清新な発想のもとに「たしかな学力、ゆたかな人間性、たくましい行動力」を身につけた心身ともに健やかな人間を育成する。

#### 【教育方針】

男女共学の進学校として学力開発と人間性開発を推進し、個性の伸張を図るとともに高い教養、豊かな情操を養い、意欲と情熱をもった自己教育力のある人間を育成する。

### (4) 鹿児島女子短期大学附属 かもめ幼稚園・なでしこ幼稚園・すみれ幼稚園

#### 【教育目標】

一人ひとりの幼児の個性を伸ばし、豊かな心情や主体性・創造性を育て、心身ともに健全な人間の生きる力の基礎を培う。

#### 【めざす幼児の姿】

げんきであかるい子    なかよくあそぶ子    よくかんがえくふうする子

### (5) なでしこ保育園

#### 【保育方針】

- 1 一人一人を大切に丁寧な保育を行い、自立した生活習慣を身につけ、健康な体、豊かな情緒、素直な表現力をもてる子どもの育成に努める。
- 2 身近な環境や自然と触れ合う中で豊かな感性を育み、創造力をふくらませ、友達との関わりの中で秩序や協調性をもてる子どもの育成に努める。

#### 【保育の目標】

「一人一人を大切に感性豊かな子ども」の育成を目指す。

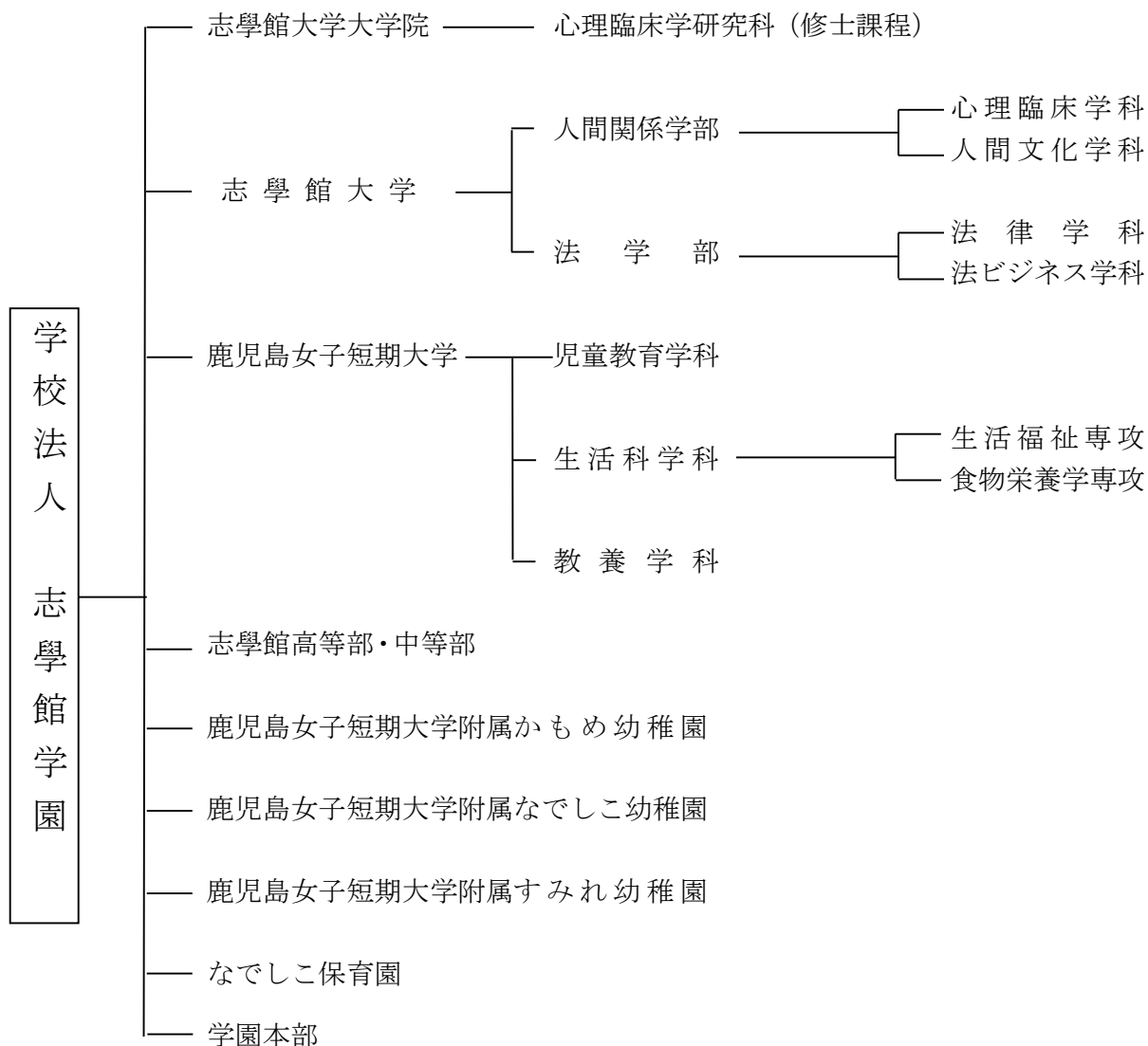
## 2. 志學館学園の沿革

明治40年	8月	鹿児島女子手藝伝習所開設
41年	2月	鹿児島女子技藝學校設置認可
大正15年	6月	鹿児島女子技藝學校の名称を鹿児島高等實踐女學校と改称認可
昭和23年	4月	学校教育法第1条に定める高等学校に昇格、鹿児島実践女子高等学校と改称
	4月	財団法人実践学園設立認可
26年	2月	財団法人の組織を変更し、私立学校法に定める学校法人実践学園設立認可
31年	4月	鹿児島実践女子高等学校全日制普通科開設
35年	4月	鹿児島実践学園幼稚園教員養成所開設（昭和41年3月31日廃止）
38年	5月	鹿児島実践女子高等学校附属かもめ幼稚園設置認可
40年	1月	鹿児島実践女子高等学校附属かもめ幼稚園を鹿児島女子短期大学附属かもめ幼稚園と改称認可
	4月	鹿児島女子短期大学開設（幼児教育科）
41年	4月	鹿児島女子短期大学家政科開設
42年	4月	鹿児島女子短期大学教養科開設
42年12月		鹿児島女子短期大学家政科を食物栄養学専攻、家政専攻に専攻分離認可
43年	4月	鹿児島女子短期大学幼児教育科を児童教育科に改称
	4月	鹿児島実践女子高等学校に食物科設置
46年	4月	鹿児島女子短期大学児童教育科を児童教育学科とし、その専攻を初等教育学専攻、幼児教育学専攻。家政科を家政学科とし、その専攻を家政学専攻、食物栄養学専攻。教養科を教養学科とし、それぞれ学科名、専攻名を名称変更
49年	4月	鹿児島女子短期大学附属なでしこ幼稚園開設
50年	4月	鹿児島女子短期大学家政学科の専攻を被服学専攻、家政学専攻、食物栄養学専攻に分離変更
54年	4月	鹿児島女子大学文学部（国文学科・英文学科・人間関係学科）開設
58年	4月	鹿児島実践女子高等学校の校名を鹿児島女子大学附属高等学校と改称
61年	4月	鹿児島女子短期大学附属すみれ幼稚園開設
62年	4月	志學館中等部開設
63年	4月	鹿児島女子短期大学専攻科（児童教育専攻・家政専攻・食物栄養専攻・教養専攻）開設
平成1年	4月	鹿児島女子短期大学家政学科を生活科学科に名称変更
2年	4月	志學館高等部開設
4年	4月	鹿児島女子大学文学部英文学科を英語英文学科に改称

	7年	4月	鹿児島女子短期大学専攻科家政専攻を生活科学専攻に改称
11年	4月		学校法人実践学園を学校法人志學館学園と改称
		4月	鹿児島女子大学を志學館大学と改称し、法学部法律学科を開設
		4月	鹿児島女子短期大学生活科学科に生活福祉専攻を開設
		4月	鹿児島女子大学附属高等学校を鹿児島学芸高等学校と改称
15年	4月		志學館大学文学部を募集停止し、人間関係学部心理臨床学科・人間文化学科を開設
17年	4月		志學館大学大学院心理臨床学研究科（修士課程）設置
18年	3月		鹿児島学芸高等学校廃止
19年	4月		学校法人志學館学園 なでしこ保育園開設
20年	4月		志學館大学法学部法ビジネス学科開設
21年	4月		鹿児島女子短期大学を鹿児島市紫原から鹿児島市高麗町へ移転
22年	4月		鹿児島女子短期大学児童教育学科の専攻を廃止し学科に統合
23年	4月		志學館大学を霧島市隼人町から鹿児島市紫原へ移転
31年	3月		鹿児島女子短期大学生活科学科生活科学専攻及び専攻科生活科学専攻を廃止
令和	5年	3月	鹿児島女子短期大学専攻科児童教育専攻及び専攻科食物栄養専攻を廃止



### 3. 志學館学園の組織



### 4. 各学校等の所在地

- |             |                 |
|-------------|-----------------|
| ・志學館大学      | 鹿児島市紫原1-59-1    |
| ・鹿児島女子短期大学  | 鹿児島市高麗町6-9      |
| ・志學館高等部・中等部 | 鹿児島市南郡元町32-1    |
| ・かもめ幼稚園     | 鹿児島市紫原1丁目19-20  |
| ・なでしこ幼稚園    | 鹿児島市明和2丁目41-1   |
| ・すみれ幼稚園     | 鹿児島市皇徳寺台4丁目44-1 |
| ・なでしこ保育園    | 鹿児島市明和2丁目41-1   |
| ・学園本部       | 鹿児島市高麗町5-27     |

5. 志學館学園の役員〔令和6年3月31日現在〕

\*理事 7人以上9人以内 現員8人

役員名	勤務	氏名	現職
理事長	常勤	志賀 啓一	志學館学園理事長
理事	〃	志賀 壽子	志學館学園学園長
〃	〃	飯干 紀代子	志學館大学学長
〃	〃	阿部 哲郎	志學館学園本部事務局長
〃	〃	村若 修	鹿児島女子短期大学副学長
〃	非常勤	清水 昭雄	志學館大学元学長
〃	〃	若松 伸一	株式会社ワカマツ自動車代表取締役
〃	〃	吉田 健朗	株式会社南日本総合サービス代表取締役社長

\*監事 2人又は3人 現員2人

役員名	勤務	氏名	現職
監事	非常勤	大津 学	株式会社大津倉庫代表取締役社長
〃	〃	久永 修平	株式会社久永代表取締役社長

\*評議員 17人以上19人以内（ただし、理事の2倍を超える人数）

現員 志賀 啓一 他16名

## 6. 各学校の状況

### (1) 令和5年度 入学定員・収容定員及び学生・生徒・園児数

令和5年5月1日現在

学校名	学部・学科・課程名	入学定員	入学者数	収容定員	在籍者数
志 學 館 大 学	大 学 院 (心理臨床学研究科)	人 13	人 15	人 23	人 30
	人間関係学部 (心理臨床学科)	200 130	186 146	810 526	843 587
	(人間文化学科)	70	40	284	256
	法 学 部 (法 律 学 科)	145	123	590 386	592 398
	(法ビジネス学科)			204	194
	大学 計	358	324	1,423	1,465
鹿 児 島 女 子 短 期 大 学	児童教育学科	210	171	420	375
	生活科学科 (生活福祉専攻)	80 20	57 10	160 40	107 17
	(食物栄養学専攻)	60	47	120	90
	教養学科	80	75	160	165
	短大 計	370	303	740	647
志 學 館 高 等 部		160	86	480	261
志 學 館 中 等 部		120	95	360	238
か も め 幼 稚 園		—	—	260	187
な で し こ 幼 稚 園		—	—	240	139
す み れ 幼 稚 園		—	—	180	164
学 園 合 計		1,008	808	3,683	3,101

#### 【附帯事業】

な で し こ 保 育 園		—	—	40	47
---------------	--	---	---	----	----

(2) 令和6年度 入学定員・入学者数

令和6年5月1日

学校名	学部・学科・課程名	入学定員	入学者数
志 學 館 大 学	大学院 (心理臨床学研究科)	人 13	人 15
	人間関係学部 (心理臨床学科)	200 130	199 150
	(人間文化学科)	70	49
	法 学 部	145	121
	大学 計	358	335
鹿児島女子短期大学	児童教育学科	210	156
	生活科学科	80	45
	(生活福祉専攻)	20	6
	(食物栄養学専攻)	60	39
	教養学科	80	60
短大 計	370	261	
志 學 館 高 等 部		160	84
志 學 館 中 等 部		120	85

(3) 令和5年度 教職員数

学校名	理事長	教育職員	事務職員等	合計
志 學 館 大 学		57	33	90
鹿児島女子短期大学		46	28	74
志 高等部		23	5	28
學 中等部		24	6	30
館 小 計		47	11	58
かもめ幼稚園		16	2	18
なでしこ幼稚園		14	2	16
すみれ幼稚園		14	2	16
学 園 本 部	1		14	15
合 計	1	194	92	287
なでしこ保育園			18	18
合計 (含む保育園)	1	194	110	305

令和5年5月1日現在

\* 上記は専任教職員数

## IV 令和5年度 学校法人志學館学園 事業報告

令和4年度を初年度とする第4次経営計画「志學館未来計画 2022-2027」は、各設置校及び学園本部において「基本計画」⇒「取組戦略」⇒「具体的な取組み内容」と計画から戦略へと展開し、6か年の行動の指針となる「施策」を策定したものです。令和5年度は学園全体で447の事業計画を推進いたしました。

### 1. 令和5年度短期事業計画の進捗状況

#### ◆ 評価結果

評価区分	S	A	B	C	D	小計	N	合計
(達成率)	101% ~	100%~ 80%	79%~ 50%	49%~ 20%	19%~ 0%	-	見直 施策	-
志學館大学	10	87	29	8	7	141	3	144
鹿児島女子短期大学	3	55	24	3	1	86	0	86
志學館高等部・中等部	2	28	13	8	2	53	0	53
かもめ幼稚園	7	7	9	4	5	32	0	32
なでしこ幼稚園	1	21	6	2	1	31	0	31
すみれ幼稚園	6	17	8	1	2	34	0	34
なでしこ保育園	1	15	4	0	0	20	0	20
学園本部	0	19	17	8	2	46	1	47
計	30	249	110	34	20	443	4	447

#### ◆ 達成度

評価区分	S	A以上	B以上	C以上	D以上
志學館大学	7%	69%	89%	95%	100%
鹿児島女子短期大学	3%	67%	95%	99%	100%
志學館高等部・中等部	4%	57%	81%	96%	100%
かもめ幼稚園	22%	44%	72%	84%	100%
なでしこ幼稚園	3%	71%	90%	97%	100%
すみれ幼稚園	18%	68%	91%	94%	100%
なでしこ保育園	5%	80%	100%	100%	100%
学園本部	0%	41%	78%	96%	100%
計	7%	63%	88%	95%	100%

※施策を計画化し実行している「B」以上は、学園全体で88%となりました。

## 2. 令和5年度短期事業計画の具体的な取組内容

### (1) 志學館大学

#### 《Ⅰ. 教育・研究活動》

- ・ 共通教育と専門教育の連続性や現代的な教養教育の充実に向けた新カリキュラムを実施
- ・ 「入学前講義視聴課題」の改善（設問改善や量的負担軽減のため選択肢制導入）を実施
- ・ 情報リテラシー教育に関する科目を全学必修科目としてカリキュラム上に記載
- ・ IR分析等を注視し効率的教室利用に向けた調整を実施
- ・ 改正された学則に応じた単位認定と実習評価制度の検証を実施
- ・ 科研費研究成果報告シンポジウムを実施

#### 《Ⅱ. 学生支援・キャリア形成支援》

- ・ 支援者（教職員）への支援体制の強化に向けて教職員対象の研修会を実施
- ・ 学習放棄状態学生に対する直接的支援と各部署間の情報提供体制を構築
- ・ 資格講座に関して講座内容の最適化とテキストの見直しを実施

#### 《Ⅲ. 管理運営》

- ・ 高校教育課程の変更に伴う入試制度の改正を実施
- ・ 研究における心理両センター利用に関するルールを整備

#### 《Ⅳ. 学生受入れ》

- ・ 主要連携校との意見交換を実施（年2回）
- ・ 地域特待と連動した「離島枠（学校推薦型選抜Ⅱ期地域枠制）」の新設

#### 《Ⅴ. 社会連携》

- ・ 社会人向けの教養講座として新たに「おとなの教養講座」を実施
- ・ 中小企業家同友会との意見交換会を実施

### (2) 鹿児島女子短期大学

#### 《Ⅰ. 教育研究活動》

- ・ 教養学科において、従来の社会人基礎力チェック方法にかわり DP をもとにした評価指標「学びの自己評価」を年度初めに適用
- ・ 令和4年度アセスメント報告書を受け、令和6年度に向けた教育課程を協議し整備
- ・ 志學館大学との共催で韓国での研修を実施
- ・ 各学科のキャリアガイダンス・キャリア科目の充実化を図り、教養学科では就活に向けてキャリアデザインで企業訪問と面接練習等を実施
- ・ 「研究所会議の確認事項」を修正し、共同研究を促進する環境を整備

#### 《Ⅱ. 学生支援》

- ・ 配慮が必要な学生を抽出するためのスクリーニング調査を実施

- ・教員採用試験対策について、小幼保コース所属委員を中心に講座の企画やコーディネート等を実施
- ・就職・進路活動について、全ての学科・専攻でリアルタイムに書き込み・閲覧ができるように環境を整備

#### 《Ⅲ. 管理運営》

- ・令和4年度アセスメント報告書に基づき、全体及び学科・専攻毎に3つのポリシーの見直しを実施
- ・コンプライアンス研修を教員と職員それぞれに年4回実施

#### 《Ⅳ. 学生受入》

- ・学校推薦型選抜・一般選抜二期 A 方式(小論文)・一般選抜一期 A 方式(国語・英語)の選抜方法において、評価方法を見直すとともに募集要項に明記
- ・地域別及び学科専攻別にターゲット広告を実施

#### 《Ⅴ. 社会貢献》

- ・公開講座の開催情報について地域コミュニティへの回覧の依頼やメディアへの掲示を実施
- ・リカレント教育の一環として管理栄養士国家試験受験対策講座を11回開講

### (3) 志學館高等部・中等部

#### 《Ⅰ. 進学校としての教育活動の推進》

- ・教育理念・教育方針の共通理解を時間割に組み込み定期的に開催
- ・いじめ防止について定例の部会を毎月実施し情報を共有
- ・ICT リソースを探究活動や生徒指導アンケート等で活用
- ・卒業生進路後援会の定例化に向けて卒業生への連絡・校内での情報共有を実施

#### 《Ⅱ. 教育環境の充実》

- ・本館3階教室部分の改修工事を実施
- ・寮生に対して全校職員挙げての学習指導を実施

#### 《Ⅲ. 機能的な学校運営》

- ・進路指導・生徒指導・ICT活用などの様々な分野において職員研修を実施
- ・会議資料の電子化を推進

#### 《Ⅳ. 生徒募集対策》

- ・塾対象の説明会(年2回)を開催
- ・公共掲示板を活用した広報活動の実施
- ・各募集イベントの実施内容の精査を継続

#### 《Ⅴ. 学園内外との連携》

- ・卒業生による講演会の実施
- ・志學館大学で開催された第47回総文祭に新聞部やボランティアとして参加
- ・かもめ幼稚園の年長組園児を招き餅つきを開催



#### (4) 鹿児島女子短期大学附属かもめ幼稚園

##### 《Ⅰ. 幼稚園教育》

- ・全ての担任が研究保育を実施
- ・幼保小連絡会における情報交換等、就学に向けたアプローチカリキュラムを実践

##### 《Ⅱ. 制度・設備》

- ・保育室前ベランダの人工芝の張替えを実施
- ・後援会と協力し餅つき大会を4年ぶりに実施

##### 《Ⅲ. 管理運営》

- ・夏季休業期間を活用し、全職員が研修へ参加

##### 《Ⅳ. 園児募集》

- ・未就園児クラブの活動内容の充実を推進
- ・昨年開設したInstagram アカウントを活用し日々の様子を発信

##### 《Ⅴ. 学園内外との連携》

- ・志学館中等部の職場体験を初めて実施
- ・姉妹園三園での合同夏季研修会を開催

#### (5) 鹿児島女子短期大学附属なでしこ幼稚園

##### 《Ⅰ. 幼稚園教育》

- ・療育施設との情報交換や施設見学を実施
- ・就学に向けて「移行支援シート」を活用して各小学校や市教委と連携

##### 《Ⅱ. 制度・設備》

- ・後援会と協力し50周年記念行事の企画を検討
- ・無線LANを活用したりズム室や保育室での出席管理やオンライン研修を実施

##### 《Ⅲ. 管理運営》

- ・年少少クラスを2学級に増設
- ・県内外の研修への全員参加

##### 《Ⅳ. 園児募集》

- ・未就園児クラブを13回開催、実際に幼稚園の教育課程で実践している内容で実施
- ・Instagramの定期更新

##### 《Ⅴ. 学園内外との連携》

- ・9月から園庭開放を本格実施
- ・新規採用者対象の「教育セミナー」の実施

## (6) 鹿児島女子短期大学附属すみれ幼稚園

### 《Ⅰ. 幼稚園教育》

- ・療育施設職員との来園及びオンラインによる定期的な情報交換
- ・全担任の研究保育の実施（7回）

### 《Ⅱ. 制度・設備》

- ・各種感染症の感染拡大防止に向けて換気・消毒等の徹底
- ・安全点検による固定施設（遊具）等の改修・修繕を実施

### 《Ⅲ. 管理運営》

- ・園児の思いや発想・つぶやきを活かした保育の実践
- ・夏季休業期間を活用した県外研修への積極的な参加（計5名）

### 《Ⅳ. 園児募集》

- ・未就園児クラブにおいて50組の募集に対して計62組の登録
- ・HPやInstagramを活用した定期的な情報発信

### 《Ⅴ. 学園内外との連携》

- ・園庭開放（16回）と文庫開放（13回）を実施
- ・中高生の職場体験を受入れ（8名）

## (7) なでしこ保育園

### 《Ⅰ. 保育》

- ・保育全体計画に基づく月案・週案を作成し意図的・計画的な保育を実践
- ・食育全体計画に基づき夏野菜や稲の栽培などを計画的に実践

### 《Ⅱ. 制度・設備》

- ・新たに乳幼児用遊具を設置

### 《Ⅲ. 管理運営》

- ・パソコンの導入と保育管理システムの活用により業務のシステム化が具体化
- ・コドモン研修動画を利用し様々な分野の研修を実施

### 《Ⅳ. 園児募集》

- ・ホームページを活用した情報発信（月平均17回）を実施

### 《Ⅴ. 学園内外との連携》

- ・園見学会を定期開催し24組が参加
- ・幼保小が連携する研修活動を計画し実践

## (8) 学園本部

### «Ⅰ.「経営力」の向上»

- ・私立学校法改正（令和7年度施行）の主旨に沿った理事・評議員体制の検討を実施
- ・コンプライアンスチェックシートの改正
- ・危機管理マニュアルの素案を作成
- ・補助金について会議体の資料で情報を共有し、採択制の補助金申請を促進
- ・教育充実費の適正な引き上げを実施

### «Ⅱ.「組織力」の強化»

- ・令和5年度から大学・短大の教員に裁量労働時間制を導入
- ・在宅勤務関する規程の整備
- ・幼稚園教諭採用に向け説明会・ガイダンスを開催（2回）
- ・新規採用者に対してフォローアップ面談の実施

### «Ⅲ.「革新力」の創出»

- ・令和6年度4月からの稼働に向け勤怠管理システムの試行運用を実施
- ・学園本部開催の会議における全会議資料の電子媒体化の実施
- ・幼稚園教育職員の雇用形態・勤務時間・業務内容を調査し、学級・在園児・特別支援を要する園児数に対応した【適正人員指標】の作成
- ・高麗町駐車場の看板刷新
- ・短大芙蓉寮のシェアルーム化を検討、令和6年度からの運営開始

## (9) 6か年施設設備投資計画事業執行状況

### 1. 志學館中高等部キャンパス整備事業

- 本館教室内改修工事 ICT機器導入による教材等の更新（令和5年度実施、令和6年度以降も継続）

### 2. 三附属幼稚園園内改修工事事業

- かもめ幼稚園ベランダ人工芝張替→長尺シート（令和5年度執行）
- すみれ幼稚園トイレ改修工事（令和5年度執行）

### 3. 学園内車両・バス更新事業

- 志學館大学マイクロバス更新（令和5年度執行）
- 鹿児島女子短期大学公用車更新（令和5年度執行）
- 学園本部公用車更新（令和5年執行）

3. 令和5年度設置校別事業計画達成度評価

組織名称	志 學 館 大 学
------	-----------

基本計画	取組戦略	戦略の具体的な取組内容	件数	評価								
				S	A	B	C	D	N	計		
I 教育・研究活動	1 教育課程の組織的・体系的な編成と改善	① DPを軸にした教育課程の組織的・体系的編成と継続的改善	3	1	2						3	
		② 高大接続による入学前学習指導・教育の整備	2	1	1						2	
		③ 導入教育の改善	3	1	1	1					3	
		④ 教養教育（共通教育科目）の検証と充実	3	2	1						3	
		⑤ 国家資格教育の検証と改善	4		2	1				1	4	
		⑥ 法学部2学科体制の整備	2	1		1					2	
		⑦ 教職課程の法令に対応した整備と外部評価対応	2		1	1					2	
	2 教授方法の工夫・開発と効果的な授業実施	① 教育諸制度の点検と継続的改善	4		3	1					4	
		② 授業評価の実質化と活用	1		1						1	
	3 単位・卒業等認定基準の明確化と実質化	① 単位認定制度の実質化	3		3						3	
		② 卒業等認定制度の検証と実質化	1			1					1	
	4 学修成果のモニタリングとフィードバック	① 学修成果の可視化とASPの検討と改善	1		1						1	
		② ディプロマサプレメントの改善	3		3						3	
	5 大学院教育の整備・強化	① 大学院教育の整備	4		3	1					4	
		② 大学院授業料免除制度の整備	1							1	1	
	6 研究活動の推進	① 公正な研究の推進	2		1	1					2	
		② 研究環境・支援の充実	3		1	1	1				3	
	7 グローバル化の推進	① 大学のグローバル化の検証と改善	6		5				1		6	
	II 学生支援・キャリア形成支援	1 適応支援の継続的改善	① 障がいのある学生への支援制度の検証と改善	4	1	2	1					4
			② 学生支援センター・室の機能の検証と改善	5		3	2					5
		2 学修支援・成長力支援	① 学習力不足の学生、学修意欲が低下している学生（学修困難者）への支援体制の構築	2		2						2
3 進路支援		① 進路支援体制の検証と改善（支援効率の向上）	7		6				1		7	
		② 教育課程内外でのキャリア教育の検証と改善	3		3						3	
4 資格教育		① 資格取得支援体制と内容の検証・改善	4		1	3					4	
5 学生の意見・要望への対応と学生サービス		① 多チャンネル方式による学生の意見・要望の汲み上げと反映	1		1						1	
		② 学生支援関連の諸制度（特待生、奨学生等）の点検と整備	4		2	2					4	

基本計画	取組戦略	戦略の具体的な取組内容	件数	評価							
				S	A	B	C	D	N	計	
III 管理運営	1 大学の個性・特色・強みの伸長	① 使命・目的及び教育目的～三つのポリシーの整合性の検証と改善	4		4						4
		② 大学内部・外部の状況に関するIR活動の充実	2			2					2
	2 内部質保証の深化	① 内部質保証のポリシー実現の自律化	2		2						2
		3 教学マネジメントの機能性の向上	① 学教法以下に適合する学内制度の継続的整備	1		1					
	② 大学管理運営の確実化に向けた体制整備		4		3	1					4
	③ 事務局組織の機能性の検証と効率化		1					1			1
	4 教員配置等の最適化	① 教員配置等の検証と再構築	2		2						2
	5 戦略的FD・SD活動の確立	① 教職員の能力開発に必要な研究・研修の推進	4		3	1					4
	6 健全な財務基盤と会計	① 中長期的な適切な財務運営への貢献	1							1	1
		② 科研費等競争的資金獲得の推進	1			1					1
		③ 校費等執行の厳正な管理	2		2						2
	7 ハラスメント防止の推進	① ハラスメント防止	1		1						1
	8 教育研究環境の整備	① 校地、校舎等の教育研究環境の整備と適切な運営・管理	1						1		1
		② 施設の有効利用と利便性の向上	5		2				3		5
③ 情報環境の整備		2			1	1				2	
IV 学生受入れ	1 学生募集の強化	① 募集・広報活動の質的強化	13		7	4	2				13
		② 高大連携活動の推進	2		2						2
	2 入学者選抜制度の整備による確実な入学定員管理	① 国の大学入試制度改革に対応した選抜方法の継続的改善	4	1	3						4
		② 入学者選手法法の定着による定員管理の確実化	1			1					1
		③ 大学院学生定員の確保と管理	2				2				2
V 社会連携	1 社会連携の推進	① 社会連携センターの活動の検証と改善	4		3		1				4
		② 地域と共に成長する教育の実質化	2		1	1					2
		③ 生涯学習事業に関する検証と改善	3			2	1				3
		④ 地域社会のニーズを汲み取った大学運営	2		2						2
合計			144	10	87	29	8	7	3	144	

基本計画	取組戦略	戦略の具体的な取組内容	件数	評価							
				S	A	B	C	D	N	計	
I 教育研究活動	1 「学びの質」の向上	① アセスメント・ポリシーならびにカリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーを踏まえた学習成果の定期的な見直し	2		2						2
		② 学習支援・履修指導の充実	5		5						5
		③ 留学生および社会人教育の在り方の検討	3		2	1					3
		④ 学外組織との連携強化	1		1						1
	2 教育課程の検証	① 教育課程（特に専門教育）及びカリキュラム・ポリシーの検証 定期的な見直し	1		1						1
		② 教養教育の検証	1		1						1
		③ グローバル化への対応	2		2						2
	3 学びの可視化に基づく教育方法の検証	① 学びの可視化の検証	2		1	1					2
		② 適切な学習量の検証	1		1						1
		③ アセスメント・ポリシーの着実な遂行	2		2						2
	4 ICT化の推進	① ICT環境の充実	2			2					2
		② 学生・教職員のICTスキル向上	1		1						1
	5 キャリア教育・支援の充実	① キャリア系科目の充実	1		1						1
	6 研究活動の充実	① 学内における研究活動の促進	1		1						1
		② 外部研究資金獲得の促進	1			1					1
	II 学生支援	1 多様な学生に対する支援の充実	① 多様な学生に対する支援の充実	4		3	1				
2 特待生・奨学生制度の充実		① 特待生・奨学生制度の充実	2		2						2
3 学習環境の充実		① ICT環境の充実	2		2						2
4 進路支援の充実		① 事業所の情報把握と組織的関係の構築	2		2						2
		② 公務員、教員採用試験、進学対策の支援	1		1						1
		③ 資格取得支援の充実	1		1						1
		④ 進路支援方法の検証	1		1						1
5 進路支援体制の充実		① 効果的な進路支援体制の構築	4		4						4
6 安全かつエコロジカルな機能性の高い施設・設備の整備		① 学生満足度を高めるアメニティの整備	2		2						2
		② バリアフリー化の推進	1			1					1
	③ 学生寮の充実	1		1						1	

基本計画	取組戦略	戦略の具体的な取組内容	件数	評価							
				S	A	B	C	D	N	計	
Ⅲ 管理運営	1 政策・制度変更等への的確な対応	① 政策・制度変更等への的確な対応	2		2						2
	2 業務改善・効率化の推進による業務生産性の向上	① 業務改善・効率化の推進による業務生産性の向上	1			1					1
		② 入試出願から入学までのデータ管理プロセス一元化	1			1					1
	3 組織体制の検証	① 組織体制の検証	3		1	2					3
	4 FD・SDの推進	① FD・SDの推進と学内研修体制の充実	3		2	1					3
	5 ガバナンスの充実	① 教職協働体制の推進	1			1					1
		② コンプライアンスの徹底	1		1						1
	6 危機管理体制の充実と高度化	① 危機管理体制の充実と高度化	4		2	2					4
	7 学内ブランディングの構築	① めざす「KAJOTANの姿」の設定	2			2					2
	8 施設・設備の計画的な営繕・リプレイスの推進	① 施設・設備の計画的な営繕・リプレイスの推進	3			3					3
9 私学助成補助金等の獲得推進と教育施設の充実	① 私学助成補助金等の獲得推進と教育施設の充実	1		1						1	
10 調査資料に基づく教育内容・方法の改善	① 調査資料に基づく教育内容・方法の改善	1				1				1	
Ⅳ 学生受入	1 高大接続の充実	① アセスメント・ポリシーを踏まえたアドミッション・ポリシーの定期的な見直し	2		1			1			2
	2 入学定員の充足	① 入学試験の検証	2		1	1					2
		② 募集活動の充実	2	1	1						2
		③ 同窓生との連携	1				1				1
		④ 広報活動の充実	2	1	1						2
Ⅴ 社会貢献	1 地域貢献	① 公開講座の充実	1		1						1
	2 地域創生・連携	① 自治体・企業・団体等との連携	2	1		1					2
		② 他大学等との連携	1				1				1
		③ 社会情勢に対応した連携方法の開発	1				1				1
	3 卒業生との連携	① 卒業生との連携	1				1				1
		② リカレント教育の実施	1		1						1
	合計			86	3	55	24	3	1	0	86

基本計画	取組戦略	戦略の具体的な取組内容	件数	評価							
				S	A	B	C	D	N	計	
I 進学校としての教育活動の推進	1 教育理念に基づいた教育方針の再確認	① 教育方針の再確認, 明確化	1	1							1
		② 教職員間における教育理念, 教育方針の共通理解	1	1							1
	2 学力開発・人間性開発の推進	① 教育課程の充実	3		1	1	1				3
		② 学力開発の充実	6		4	1	1				6
		③ 人間性開発の充実	4		4						4
		④ いじめ防止の徹底	2		2						2
		⑤ ICTを活用した教育の充実	4		3	1					4
	3 グローバル化への対応	① 留学生受入体制の整備	1			1					1
		② 短期留学プログラムの研究	1			1					1
	4 キャリア教育の充実	① ライフスキル教育の導入	1				1				1
		② インターンシップの研究	1					1			1
		③ 後援会・卒業生の活用	1		1						1
	II 教育環境の充実	1 ICT機器の導入および研究	① 情報共有システムの整備	1			1				1
		2 学校諸施設および機器の整備	① 学校施設の整備	1		1					1
		3 寮環境の充実	① 寮環境の整備	2		1			1		2
	III 機能的な学校運営	1 組織力の向上	① 校務分掌の再構築	2		2					2
② 教職員のスキル向上			1			1				1	
③ 教職員配置の検討			1				1			1	
2 情報共有による業務の効率化		① 情報共有の強化	2		1	1				2	
		3 各種制度の検証と構築	① 奨学金制度の検証と構築	1		1					1
② 特待生制度の検証と構築			1		1					1	
4 各種評価制度の充実		① 学校評価制度の充実	2				2			2	
		② 授業評価制度の充実	1				1			1	
5 学校運営に関する意識の向上		① コンプライアンスの確認と徹底	1		1					1	
		② 危機管理の徹底	1				1			1	



組織名称

志學館高等部・中等部

基本計画	取組戦略	戦略の具体的な取組内容	件数	評価							
				S	A	B	C	D	N	計	
IV 生徒募集対策	1 入学定員の充足	① 募集活動の強化	2		2						2
		② 広報力の強化	2			2					2
		③ 広報部門の見直し	1			1					1
V 学園内外との連携	1 同窓会・後援会との連携	① 同窓会・後援会との連携強化	2			2					2
	2 設置校との連携	① 設置校との連携	3		3						3
合計			53	2	28	13	8	2	0	53	

基本計画	取組戦略	戦略の具体的な取組内容	件数	評価							
				S	A	B	C	D	N	計	
I 幼稚園教育	1 幼稚園教育の充実	① 日々の教育の充実	3	2			1				3
		② 特別な支援を必要とする園児への支援の充実	2		1			1			2
		③ 就学を意識した教育の充実	2		1	1					2
		④ 特色ある教育の充実	1			1					1
II 制度・設備	1 制度等の充実・改善	① 預かり保育・一時預かりの充実	1					1			1
		② 後援会・クラス役員の活動内容の精査	1			1					1
	2 施設設備の充実	① 教育環境の充実	1		1						1
		② 管理運営環境の充実	1	1							1
		③ ICT環境の充実	1					1			1
		④ バス運行内容の精査	1		1						1
III 管理運営	1 労務環境の充実	① 人材の安定確保	1		1						1
		② 業務内容の精査	2			1	1				2
		③ 研修制度の充実	2	1		1					2
IV 園児募集	1 広報の充実	① 園児募集活動の強化	3	2		1					3
		② 「幼稚園教育の良さ」の広報	1			1					1
		③ 新たな広報戦略の検討	3		1	1	1				3
V 学園内外との連携	1 社会連携	① 子育て支援の充実	1			1					1
		② 地域社会との連携	1				1				1
		③ 卒園児との連携	1					1			1
	2 設置校・姉妹園との連携	① 三園合同の取組事項の精査	1		1						1
		② 設置校との連携強化	2	1				1			2
合計			32	7	7	9	4	5	0	32	

基本計画	取組戦略	戦略の具体的な取組内容	件数	評価							
				S	A	B	C	D	N	計	
I 幼稚園教育	1 幼稚園教育の充実	① 日々の教育の充実	3		3						3
		② 特別な支援を必要とする園児への支援の充実	1		1						1
		③ 就学を意識した教育の充実	2		1	1					2
		④ 特色ある教育の充実	2		1			1			2
II 制度・設備	1 制度等の充実・改善	① 預かり保育・一時預かりの充実	1				1				1
		② 後援会・クラス役員の活動内容の精査	1		1						1
	2 施設設備の充実	① 教育環境の充実	1		1						1
		② 管理運営環境の充実	1		1						1
		③ ICT環境の充実	1	1							1
④ バス運行内容の精査	1		1						1		
III 管理運営	1 労務環境の充実	① 人材の安定確保	1		1						1
		② 業務内容の精査	2			2					2
		③ 研修制度の充実	2		1	1					2
IV 園児募集	1 広報の充実	① 園児募集活動の強化	2		2						2
		② 「幼稚園教育の良さ」の広報	2		2						2
		③ 新たな広報戦略の検討	3		2	1					3
V 学園内外との連携	1 社会連携	① 子育て支援の充実	1				1				1
		② 地域社会との連携	1			1					1
		③ 卒園児との連携	1		1						1
	2 設置校・姉妹園との連携	① 三園合同の取組事項の精査	1		1						1
		② 設置校との連携強化	1		1						1
合計			31	1	21	6	2	1	0	31	

基本計画	取組戦略	戦略の具体的な取組内容	件数	評価						
				S	A	B	C	D	N	計
I 幼稚園教育	1 幼稚園教育の充実	① 日々の教育の充実	3	1	1			1		3
		② 特別な支援を必要とする園児への支援の充実	2	1	1					2
		③ 就学を意識した教育の充実	2		2					2
		④ 特色ある教育の充実	2		1	1				2
II 制度・設備	1 制度等の充実・改善	① 預かり保育・一時預かりの充実	1					1		1
		② 後援会・クラス役員の活動内容の精査	2			2				2
	2 施設設備の充実	① 教育環境の充実	1		1					1
		② 管理運営環境の充実	1		1					1
		③ ICT環境の充実	1				1			1
		④ バス運行内容の精査	1		1				1	
III 管理運営	1 労務環境の充実	① 人材の安定確保	1			1				1
		② 業務内容の精査	2		2					2
		③ 研修制度の充実	2	1	1					2
IV 園児募集	1 広報の充実	① 園児募集活動の強化	2	1	1					2
		② 「幼稚園教育の良さ」の広報	2	1		1				2
		③ 新たな広報戦略の検討	2		1	1				2
V 学園内外との連携	1 社会連携	① 子育て支援の充実	1	1						1
		② 地域社会との連携	2		2					2
		③ 卒園児との連携	2		1	1				2
	2 設置校・姉妹園との連携	① 三園合同の取組事項の精査	1		1					1
		② 設置校との連携強化	1			1				1
合計			34	6	17	8	1	2	0	34

基本計画	取組戦略	戦略の具体的な取組内容	件数	評価							
				S	A	B	C	D	N	計	
I 保育	1 保育の充実	① 日々の保育の充実	1		1						1
		② 特別に支援を必要とする園児への支援の充実	2		1	1					2
		③ 就学を意識した教育の充実	1		1						1
		④ 特色ある保育の充実	2	1	1						2
II 制度・設備	1 制度等の充実・改善	① 預かり保育・一時預かりの充実	1		1						1
	2 施設設備の充実	① 保育環境の充実	1		1						1
		② 管理運営環境の充実	1		1						1
		③ ICT環境の充実	1		1						1
III 管理運営	1 労務環境の充実	① 人材の安定確保	1		1						1
		② 業務内容の精査	2		1	1					2
		③ 研修制度の充実	2			2					2
IV 園児募集	1 広報の充実	① 園児募集活動の強化	1		1						1
V 学園内外との連携	1 社会連携	① 子育て支援の充実	1		1						1
		② 地域社会との連携	1		1						1
		③ 卒園児との連携	1		1						1
	2 設置校・姉妹園との連携	① 設置校との連携強化	1		1						1
合計			20	1	15	4	0	0	0	0	20

基本計画	取組戦略	戦略の具体的な取組内容	件数	評価								
				S	A	B	C	D	N	計		
I 「経営力」の向上	1 健全経営を行うための管理運営体制の強化	① 健全な法人運営プロセスの強化	1		1						1	
		② 相互チェック機能体制の強化	1		1						1	
		③ 私立学校ガバナンス改革への対応	1		1						1	
	2 コンプライアンスの徹底とリスク管理・危機管理体制の強化	① コンプライアンスの周知と徹底	1			1					1	
		② リスク管理・危機管理体制の強化	2		1		1				2	
	3 定量的目標に基づく財政基盤の維持・向上	① 事業活動収支計画の策定と実行	2		2						2	
		② 適確な予算編成と厳格な予算執行	1		1						1	
		③ 教育活動収入価格設定の検証と時宜改訂	1		1						1	
		④ 外部資金増加策の推進	1				1				1	
	II 「組織力」の強化	1 働き方改革への取組み	① 働き方に相応する労働時間制度の導入	2		2						2
			② リモートワーク環境の整備	2			1	1				2
			③ 各種休暇取得の推進	2			2					2
④ 健康相談体制の充実			1			1					1	
2 働きがいのある人事制度・人材育成への取組み		① 事務職員の人事制度の設計と運用	3			1	2				3	
		② 雇用制度・形態の整備	2			1		1			2	
		③ 事務職員の研修制度の充実	1			1					1	
		④ 幼稚園・保育園教育職員の処遇改善の設計と運用	2		1		1				2	
3 事務組織体制の強化		① 経営戦略に即した事務組織の編成	2			2					2	
4 連携力の構築		① 本部・設置校間の連携強化	2			2					2	

基本計画	取組戦略	戦略の具体的な取組内容	件数	評価							
				S	A	B	C	D	N	計	
Ⅲ 「革新力」の創出	1 ICT環境整備による業務改革	① ICT環境の構築による事務処理の合理化	5		1	2	1			1	5
		② DXの推進	2		1		1				2
	2 本部コンサルティング機能の充実	① 適正人員の配置	1			1					1
		② 募集戦略の活性化	1		1						1
		③ 広報体制の強化	2		1	1					2
		④ 教育施設設備の充実	2		2						2
		⑤ 多文化共生社会への対応	1			1					1
		⑥ 学園の将来構想の検討	1		1						1
	3 新規事業による収益事業の創出	① 新たな事業の創出	2		1				1		2
	合計			47	0	19	17	8	2	1	47

4. 令和5年度設置校別KPI達成度評価

設置校名	基本計画	2023年度		
		KPI	実績	詳細
志 志 志 学 学 学 館 館 館 大 大 大 学 学 学	I 教育・研究活動	①科研申請率 50%	①15.8%	①科研費2023申請数/(2023教員数)×100
	II 学生支援・キャリア形成支援	①中途除籍率 3%以下 ②就職率 99%	①2.7% ②98.3%	①2023年度退学・除籍者数(2023年5月教授会～2024年4月教授会承認分まで)39人/除籍者数(2023年5月1日現在)1,435人×100 ②就職者数283人/就職希望者数288人×100
	III 管理運営	①S/T比 28以内 ②コンプライアンス啓発活動回数 4回	①25.2 ②2件	①在籍学生数/2023教員数 ②年度内実施回数
	IV 学生受入れ	①高大連携高校数 20校 ②入学定員充足率(学士課程) 1.14(大学院課程) 1.00 ③収容定員充足率(学士課程) 1.00以上(大学院課程) 1.00以上	①連携14校 ②(学士課程) 0.90(大学院課程) 1.15 ③(学士課程) 1.03(大学院課程) 1.15	①連絡協議会(年2回)連携校14校、連携協定締結校は5校(伊集院高校は連携校重複、徳之島高校2024締結予定) ②(学士課程) 入学者数309人/入学定員345人(大学院課程) 入学者数15人/入学定員13人 ③(学士課程) 在籍者数(2023年5月1日現在)1435人/収容定員1400人(大学院課程) 在籍者数(2023年5月1日現在)30人/26人
	V 社会連携	①包括連携協定数 10件 ②社会連携活動件数 20件	①9件 ②48件	①(KER)は含めず ②年度内連携活動数
鹿 鹿 鹿 児 児 児 島 島 島 女 女 女 子 子 子 短 短 短 期 期 期 大 大 大 学 学 学	I 教育研究活動	①学生満足度(授業) 80%	①92.5%	①「学生による授業評価」質問項目(19)「この授業を総合的に1～5の5段階で評価してください。」の割合 4(どちらかというとも良い) 5(良い) 計 前期: 34.3% 58.1% 92.4% 後期: 34.5% 58.1% 92.6% (92.4+92.6)/2=92.5%
	II 学生支援	①学生満足度(キャンパスライフ等):80% ②就職率:97% ③県内就職率:80%	①97.1% ②98.7% ③85.2%	①満足・やや満足と回答した者の数541人+令和5年度 学生満足度調査回答者数557人 ②就職者数297人+就職希望者数301人 ③県内就職者数253人+就職者数297人
	III 管理運営	①外部資金申請数:5件以上 ②地元自治体、企業等との共同研究及び受託研究:3件以上	①6件 ②3件	①6件: 科研費申請4件、外部資金申請2件 ②3件: 受託1件、共同研究2件
	IV 学生受入	①入学定員充足率:100% ②県内の高校生の入学率:90%以上	①70.5% ②94.8%	①入学者数261人+入学定員370人 ②入学者数261人(高校生248人+社会人13人) 高校生入学者248人のうち鹿児島県内高校からの入学者235人 235人+248人
	V 社会貢献	①年間公開講座開講数:10件 ②連携活動件数:④、⑤へ変更 ③地元のボランティア輪流件数:15件 ④自治体との連携活動:30件 ⑤企業・その他団体との連携活動:5件 ⑥地元自治体、企業・その他団体との共同研究及び受託研究(再掲):3件以上 ⑦県内就職率(再掲):80%以上 ⑧県内の高校生の入学率(再掲):90%以上	①10件 ②17件 ③57件 ④33件 ⑤3件 ⑥85.2% ⑦94.8%	①10件すこやか子育て4件、高齢者4件、くらしと文化2件 ②17件ボランティア参加実績件数 ③57件包括連携協定先(4市35件)、その他自治体22件 ④33件包括連携協定企業(1社2件)、その他31件 ⑤3件: 受託1件、共同研究2件 ⑦県内就職者数253人+就職者数297人 ⑧入学者数261人(高校生248人+社会人13人) 高校生入学者248人のうち鹿児島県内高校からの入学者235人 235人+248人
部 部 部 学 学 学 中 中 中 館 館 館 等 等 等 高 高 高 等 等 等	IV 生徒募集対策	①入学者数 10%増 ②学校説明会参加者数 20%増	①93.9% ②63.6%	①2024年度入学(中85+高84)/2023年度入学(中95+高85)×100% ②2024年度参加者68/2023年度参加者107×100%
幼 幼 幼 稚 稚 稚 も も も 園 園 園	IV 園児募集	①未就園児クラブの会員数 充足率90% ②未就園児クラブ在籍児の入園手続率 手続率80% ③HPへの出稿数 月8件	①112% ②52% ③250%	①実会員数56人/定員50人 ②入園児数23人/対象者44人 ③インスタグラム更新 月平均20件/8=2.5
な な な で で で し し し こ こ こ 園 園 園	IV 園児募集	①未就園児クラブの会員数 会員100名 ②未就園児クラブ在籍児の入園手続率 手続き80% ③HPへの出稿数 月10件	①122% ②入園率62.3% ③約90～100%	①入会が親子61組 計122人 122人+100人=1.22...122% ②入会した親子61組の内、38人の園児が入園 38人+61組=0.623...62.3% ③園全体に関する記事の入稿 月9～10回 未就園児の記事の入稿 年10回
幼 幼 幼 す す す 稚 稚 稚 み み み 園 園 園	IV 園児募集	①未就園児クラブの会員数 充足率90% ②未就園児クラブ在籍児の入園手続率 手続率80% ③HPへの出稿数 月10件	①124% ②70% ③月平均12.3件	①62組登録+50組想定 ②43人+62人 ③148件(年間)+12か月
な な な で で で し し し こ こ こ 保 保 保 育 育 育 園 園 園	I 保育	①保護者へのICT連絡帳への写真添付 週1回以上	①週2.4回(平均)	①14.65(各年次の週平均の合計)+6(年次数<0～5歳)>=2.441...
	IV 園児募集	①HPへの出稿数 月10件	①月16件(平均)	①192件(年間)+12か月=16件
学 学 学 園 園 園 本 本 本 部 部 部	I 「経営力」の向上	①経常収支差額比率 5.7%以上 ②教育研究経費比率 30.2%以上 ③管理経費比率 6.0%以下 ④人件費比率 57.9%以下	①4.8% ②29.9% ③6.7% ④58.5%	①経常収支差額169,015,840円/経常収入3,532,972,895円 ②教育研究経費1,054,939,466円/経常収入3,532,972,895円 ③管理経費237,016,552円/経常収入3,532,972,895円 ④人件費2,065,201,696円/経常収入3,532,972,895円



## V 財務の概要

### 1. 令和5年度 決算の概要

事業活動収支計算書、資金収支計算書、貸借対照表、定量的経営判断指標について、当期の財務概況を前年度決算額と対比し、主な増減について説明する。

#### 【事業活動収支計算書】

令和5年度は、経常収支差額は169,015千円（前年比△127,878千円）、経常収支差額比率は4.8%（前年比△3.2P）となった。

収入及び支出の科目詳細については、下記のとおりである。

#### （教育活動収支）

〔収入〕 学生生徒等納付金は、学生生徒園児数は前年比△146名（大学、短大、中高等部・合計△118名、かもめ・なでしこ・すみれ幼稚園合計△28名）で△119,578千円と、大幅な減少となった。経常費補助金は、改革総合支援事業の採択（大学）に伴う増加の一方で、修学支援の授業料等減免交付金の減少（大学、短大）等により+557千円となった。付随事業収入は補助活動事業収入（寮会計）の減少等により△10,680千円、雑収入は退職金財団交付金の減少等により△49,460千円となった。

この結果、教育活動収入の合計は△179,524千円で3,511,774千円となった。

〔支出〕 人件費は、退職金及び退職給与引当金繰入額は減少したが、給与増となったこと等により+3,316千円、教育研究経費は、奨学費や消耗品費の減少等により△39,043千円、管理経費は経費節減による減少等により△2,129千円となった。

この結果、教育活動支出の合計は△38,928千円で3,360,658千円となった。

これらの結果、教育活動収支差額は△140,596千円で151,116千円となった。

#### （教育活動外収支）

教育活動外収支差額は、資産運用の受取利息配当金の増により、+13,430千円で18,368千円となった。

#### （経常収支差額）

経常収支差額は、△127,878千円で169,015千円となった。

#### （特別収支）

特別収支差額は、有価証券売却差額の増加及び資産処分差額の減少等により、+51,760千円で26,226千円となった。

#### （基本金組入前当年度収支差額）

事業活動収入は△155,306千円で3,561,496千円、事業活動支出は△79,188千円で3,366,254千円、基本金組入前当年度収支差額は△76,188千円で195,242千円となった。

財務比率に関しては、経常収支差額比率 4.8% (−3.2P)、事業活動収支差額比率 5.5% (−1.8P)、人件費比率 58.5% (+2.8P)、教育研究経費比率 29.9% (+0.3P)、管理経費比率 6.7% (+0.2P) で、定量的経営判断指標は A 3 となった。

#### 【資金収支計算書】

(収入の部) 資産売却収入は、良好な相場環境に乘じ、投資信託 ETF の反復売買を行ったことにより、+247,512 千円となった。前受金収入はほぼ前年並みの△1,832 千円、その他収入は前期末未収入金の減少等により△46,707 千円、これらにより収入の部合計は+700,896 千円で 6,909,177 千円となった。

(支出の部) 人件費支出は退職金支出の減少及び給与の増加等により+9,966 千円、施設・設備関係支出は施設設備投資額の減少により△176,110 千円、資産運用支出は積極的に有価証券の売買を短期で繰り返し行ったため+599,071 千円、その他の支出は前期末未払金支出の増加等により+8,683 千円、これらにより支出の合計は+395,985 千円で 3,952,454 千円となった。

この結果、翌年度繰越支払資金は+241,338 千円で 3,120,744 千円となった。

#### 【貸借対照表】

固定資産は、建物支出の償却等により△299,386 千円、流動資産は現金預金の増加や有価証券の売却等により+368,243 千円となった。

この結果、資産の部合計は+68,856 千円で 17,540,805 千円となった。

負債の部合計は、未払金の減少や借入金返済等により△126,385 千円で 1,687,516 千円となった。

基本金は、+88,798 千円で 19,147,713 千円となった。

学園の財産状況については、純資産が+195,242 千円で 15,853,289 千円となった。

貸借対照表の財務比率に関しては、純資産構成比率 90.4% (+0.8P)、流動比率 604.7% (+105.0P)、前受金保有率 1,196.0% (+145.9P)、積立率 52.5% (+3.9P) となった。

【経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策】

第4次経営計画（志學館学園未来計画 2022－2027）の2年目に当たる令和5年度決算は、169百万円の経常収支差額（比率4.8%）を確保し、定量的経営判断指標では正常状態のA3を維持した。

学校別では、大学は前年比60名減少したが定員充足率は110%で経常収支差額は376百万円と、学園の財務の中核を担っている。

短大は前年比66名減少したことで短大全体の収容定員充足率は9%低下の87%となり、経常収支差額は△96百万円の117百万円となった。全国的な傾向であるが、短期大学は今後も厳しい学生募集の実態が予想される。

中等部は前年比+10名だが、生徒募集に教職員一丸となって取り組んでおり、入学者は25名の増と募集対策の成果は現れている。

幼稚園全体は前年比で28名減少し、年々定員充足率は低下傾向の状況である。

学園全体の学生数は146名の減・経常収支差額（収益）は127百万円の減という厳しい実情を踏まえ、定員確保を目標に、設置校間で偏りが無い様に、バランスの良い健全な財務体質を構築することが今後の課題である。

学園全体で募集広報活動に注力し、採択制の補助金、寄付金、事業収入など、あらゆる収入増加方策を図り、経費の見直しに伴う支出の削減と効率化は今後も継続的に推進する。

学生・生徒・園児の確保を第一に、将来の施設設備拡充の為に資金の積立強化を図り、強固な財務基盤を構築し、安定した財務運営を目指す方針である。

1. ① 事業活動収支計算書及び財務比率（経年比較）

単位：千円

		勘定科目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収支	教育活動収入	学生生徒等納付金	2,420,988	2,487,316	2,496,058	2,491,164	2,371,586
		手数料	37,590	35,012	35,962	31,850	31,247
		寄付金	18,423	6,477	1,890	4,103	4,343
		経常費補助金	805,682	877,742	884,370	912,474	913,031
		付随事業収入	116,435	103,874	131,515	136,862	126,182
		雑収入	131,217	98,520	149,506	114,845	65,385
		収入計 ①	3,530,335	3,608,941	3,699,301	3,691,298	3,511,774
	教育活動支出	人件費	2,061,328	2,014,209	2,087,510	2,061,886	2,065,202
		教育研究経費	974,434	1,064,208	1,076,640	1,093,973	1,054,930
		管理経費	234,936	208,539	218,693	239,155	237,026
		徴収不能等	4,268	6,007	2,846	4,572	3,500
		支出計 ②	3,274,966	3,292,963	3,385,689	3,399,586	3,360,658
	教育活動収支差額 ①－②		255,369	315,978	313,612	291,712	151,116
	教育活動外収入	受取利息・配当金	4,411	6,448	6,433	4,938	18,368
		収益事業収入	5,813	5,958	3,456	4,068	2,831
		収入計 ③	10,224	12,406	9,889	9,006	21,199
	教育活動外支出	借入金等利息	1,728	1,326	2,466	3,824	3,299
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		支出計 ④	1,728	1,326	2,466	3,824	3,299
教育活動外収支差額 ③－④		8,496	11,080	7,423	5,182	17,900	
経常収支差額		263,865	327,058	321,035	296,894	169,016	

特別収支	特別収入	資産売却差額	0	52,764	9,349	4,644	25,063
		現物寄付	2,523	3,250	2,454	7,096	3,399
		施設設備補助金	7,448	14,581	15,753	4,515	61
		過年度修正額	505	0	0	243	0
		収入計 ⑤	10,476	70,595	27,556	16,498	28,523
	特別支出	資産処分差額	78,919	83,668	36,583	41,832	2,231
		過年度修正額	4,298	28,358	5,268	200	66
		支出計 ⑥	83,217	112,026	41,851	42,032	2,297
	特別収支差額 ⑤－⑥		△ 72,741	△ 41,431	△ 14,295	△ 25,534	26,226

経常収入 計	3,540,559	3,621,347	3,709,190	3,700,304	3,532,973
経常支出 計	3,276,694	3,294,289	3,388,155	3,403,410	3,363,957
事業活動収入 計	3,551,035	3,691,942	3,736,746	3,716,802	3,561,496
事業活動支出 計	3,359,911	3,406,315	3,430,006	3,445,442	3,366,254

基本金組入前当年度収支差額	191,124	285,627	306,740	271,360	195,242
---------------	---------	---------	---------	---------	---------

財務比率

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収支差額比率	7.5%	9.0%	8.7%	8.0%	4.8%
事業活動収支差額比率	5.4%	7.7%	8.2%	7.3%	5.5%
人件費比率	58.2%	55.6%	56.3%	55.7%	58.5%
教育研究経費比率	27.5%	29.4%	29.0%	29.6%	29.9%
管理経費比率	6.6%	5.8%	5.9%	6.5%	6.7%

② ア) 資金収支計算書 (経年比較)

単位：千円

勘定科目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
学生生徒等納付金収入	2,420,988	2,487,316	2,496,058	2,491,164	2,371,586
手数料収入	37,590	35,012	35,962	31,850	31,247
寄付金収入	18,423	6,478	1,890	4,103	4,343
補助金収入	813,130	892,323	900,123	916,988	913,031
資産売却収入	0	1,346,661	408,826	204,383	451,895
付随事業・収益事業収入	121,089	108,368	135,087	141,027	129,013
受取利息・配当金収入	4,410	6,448	6,433	4,938	18,368
雑収入	131,217	98,520	149,396	115,088	65,447
借入金等収入	0	78,100	634,000	0	0
前受金収入	375,165	418,302	358,860	298,543	296,711
その他の収入	138,089	161,123	131,985	167,428	120,721
資金収入調整勘定	△ 552,330	△ 509,031	△ 586,221	△ 483,235	△ 372,591
前年度繰越支払資金	1,758,598	1,765,940	2,348,187	2,316,004	2,879,406
収入の部 合計	5,266,369	6,895,560	7,020,586	6,208,281	6,909,177
人件費支出	2,093,587	2,018,841	2,088,294	2,059,304	2,069,270
教育研究経費支出	640,663	757,560	742,215	749,723	709,790
管理経費支出	186,859	152,407	164,277	183,567	178,400
借入金等利息支出	1,728	1,326	2,466	3,824	3,299
借入金等返済支出	70,000	148,100	259,000	65,000	65,000
施設関係支出	75,411	200,625	860,752	161,420	27,936
設備関係支出	116,528	101,740	76,196	117,669	75,043
資産運用支出	294,553	1,098,911	499,654	2	599,073
その他の支出	238,876	234,940	196,558	215,960	224,643
資金支出調整勘定	△ 217,776	△ 167,077	△ 184,829	△ 227,594	△ 164,021
翌年度繰越支払資金	1,765,940	2,348,187	2,316,003	2,879,406	3,120,744
支出の部 合計	5,266,369	6,895,560	7,020,586	6,208,281	6,909,177

イ) 活動区分資金収支計算書 (経年比較)

単位：千円

	科 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
教育活動による資金収支	教育活動資金収入計	3,529,176	3,607,478	3,699,308	3,691,394	3,511,773
	教育活動資金支出計	2,916,876	2,928,808	2,994,786	2,992,394	2,957,394
	差引	612,300	678,670	704,522	699,001	554,379
	調整勘定等	△ 48,026	15,408	△ 34,821	△ 39,589	12,767
	教育活動資金収支差額	564,274	694,078	669,701	659,412	567,146
施設整備等活動による資金収支	施設整備等活動資金収入計	7,448	14,581	15,753	4,515	0
	施設整備等活動資金支出計	191,940	302,365	936,947	279,090	102,979
	差引	△ 184,492	△ 287,784	△ 921,194	△ 274,575	△ 102,979
	調整勘定等	△ 11,798	△ 21,474	△ 68,028	35,536	△ 26,600
	施設整備等活動資金収支差額	△ 196,290	△ 309,258	△ 989,223	△ 239,038	△ 129,579
小計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)		367,985	384,820	△ 319,522	420,374	437,567
その他の活動による資金収支	その他の活動資金収入計	12,161	1,447,715	1,052,714	216,239	473,157
	その他の活動資金支出計	372,803	1,250,288	765,376	73,041	670,784
	差引	△ 360,642	197,427	287,339	143,198	△ 197,627
	調整勘定等	0	0	0	170	1,398
	その他の活動資金収支差額	△ 360,642	197,427	287,339	143,028	△ 196,229
支払資金の増減額 (小計+その他の活動資金収支差額)		7,343	582,247	△ 32,183	563,402	241,338
前年度繰越支払資金		1,758,598	1,765,940	2,348,187	2,316,004	2,879,406
翌年度繰越支払資金		1,765,940	2,348,187	2,316,004	2,879,406	3,120,744

財務比率

教育活動資金収支差額比率	16.0%	19.2%	18.1%	17.9%	16.1%
--------------	-------	-------	-------	-------	-------

### ③ 貸借対照表（経年比較）

単位：千円

科 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
固定資産	14,200,286	14,031,145	14,545,216	14,389,298	14,089,912
有形固定資産	13,901,140	13,744,505	14,283,037	14,123,153	13,818,051
特定資産	227,754	227,756	227,758	227,760	227,927
その他の固定資産	71,392	58,884	34,421	38,385	43,934
流動資産	2,310,797	2,678,422	2,770,408	3,082,651	3,450,894
資産の部合計	16,511,083	16,709,567	17,315,624	17,471,949	17,540,806

科 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
固定負債	1,009,463	954,638	1,257,477	1,195,978	1,116,318
流動負債	707,300	674,982	671,460	617,924	571,199
負債の部合計	1,716,763	1,629,620	1,928,937	1,813,902	1,687,517

科 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第1号基本金	18,190,885	18,282,739	18,782,923	18,771,080	18,859,713
第2号基本金	0	0	0	0	0
第3号基本金	49,835	49,835	49,835	49,835	50,000
第4号基本金	238,000	238,000	238,000	238,000	238,000
基本金の部合計	18,478,720	18,570,574	19,070,758	19,058,915	19,147,713

科 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
翌年度繰越収支差額	△ 3,684,400	△ 3,490,627	△ 3,684,071	△ 3,400,868	△ 3,294,424

科 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
純資産の部合計	14,794,320	15,079,947	15,386,687	15,658,047	15,853,289

負債及び純資産の部合計	16,511,083	16,709,567	17,315,624	17,471,949	17,540,806
-------------	------------	------------	------------	------------	------------

#### 財務比率

財務比率	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
純資産構成比率	89.6%	90.2%	88.9%	89.6%	90.4%
流動比率	328.0%	397.6%	413.0%	499.7%	604.7%
前受金保有率	617.4%	646.3%	772.3%	1050.1%	1196.0%
積立率	39.2%	44.3%	43.4%	48.6%	52.3%

※前受金保有率は、修正前前受金保有率（運用資産／前受金）を適用。

## 2. その他

単位：円

### ① 有価証券の状況

有価証券の種類	簿価	時価	差異
債券	0	0	0
株式	0	0	0
投資信託	200,000,000	201,087,320	1,087,320
合計	200,000,000	201,087,320	1,087,320

### ② 借入金の状況

借入先	期末残高	利率	返済期限
鹿児島銀行	50,000,000	0.85%	令和8年3月30日
鹿児島銀行	320,000,000	0.828%	令和14年3月31日
合計	370,000,000		

### ③ 寄付金の状況

寄付金の種類	寄付金額
一般寄付金	734,500
特別寄付金	3,608,279
現物寄付金	3,398,976
合計	7,741,755

### ④ 補助金の状況

補助金種別	補助金額
国庫補助金	521,525,500
(内、経常費補助金)	(340,537,000)
(内、修学支援交付金)	(180,988,500)
県補助金	357,776,706
市補助金	33,729,331
施設設備補助金	0
合計	913,031,537

### ⑤ 収益事業

売上高	13,557,198
販売管理費	13,761,582
(内、学校会計繰入額)	(2,831,304)
法人税	111,700
当期純損失	316,058



### 3. 定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分

令和5(2023)年度

#### 志学館学園 経営判断指標判定表

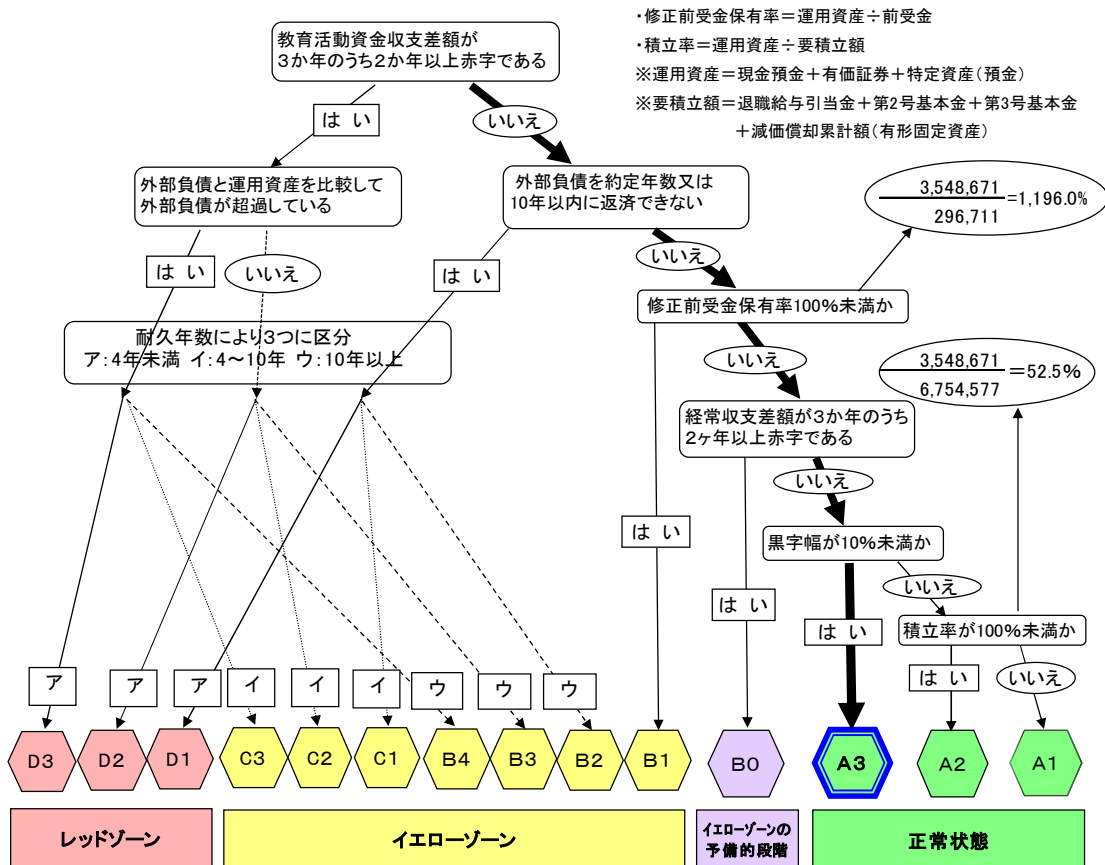
判定		A3	A3	A3	A3	A3
(単位:千円)						
I 教育活動資金 収支差額		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	教育活動資金収入(A)	3,529,176	3,607,478	<b>3,699,309</b>	<b>3,691,395</b>	<b>3,511,774</b>
	教育活動資金支出(B)	2,964,902	2,913,400	<b>3,029,608</b>	<b>3,031,983</b>	<b>2,944,628</b>
	C=A-B	564,274	694,078	<b>669,701</b>	<b>659,412</b>	<b>567,146</b>
	教育活動資金収支差額比率C/A	16.0%	19.2%	<b>18.1%</b>	<b>17.9%</b>	<b>16.1%</b>
判定		○	○	○	○	○
II 運用資産と 外部負債の関係		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	運用資産(D)	2,316,172	2,703,433	<b>2,771,427</b>	<b>3,135,092</b>	<b>3,548,671</b>
	外部負債(E)	496,030	360,235	<b>723,013</b>	<b>666,851</b>	<b>548,425</b>
	F=D-E	1,820,142	2,343,198	<b>2,048,414</b>	<b>2,468,241</b>	<b>3,000,246</b>
	C>0且つF<0の時 F÷C(単位:年)	C>0且つF>0	C>0且つF>0	C>0且つF>0	C>0且つF>0	C>0且つF>1
		***	***	***	***	***
III 経常収支差額		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	経常収入(G)	3,540,559	3,621,347	<b>3,709,190</b>	<b>3,700,304</b>	<b>3,532,973</b>
	経常収支差額(H)	263,865	327,058	<b>321,035</b>	<b>296,894</b>	<b>169,016</b>
	経常収支差額比率(H/G)	7.5%	9.0%	<b>8.7%</b>	<b>8.0%</b>	<b>4.8%</b>
判定		○	○	○	○	○

注1) 定量的な経営判断指標は平成24年度に精緻化され、7区分から14区分へ変更になった。

注2) 新会計基準に基づき、平成27年度より下記の2点の変更となった。

【変更点】①(旧)教育研究活動CF ⇒ (新)教育活動資金収支差額

②帰属収支差額(資産売却差額、資産処分差額を除く) ⇒ 経常収支差額



#### 4. 学校法人会計 及び 用語について (解説)

学校法人会計は、その事業目的において公共性が高く、企業の様に営利を追求するものではないため、企業会計とは異なる学校法人会計という会計形態をとっており、学校法人の収入は極めて制約的で、増加を図ることが難しい財政構造となっている。学校法人が事業の永続性と財政の健全性を維持していくためには、長期的な視野に立った事業計画と、それを裏付ける収支均衡の取れた財政計画が必要となる。学校法人はそれを踏まえ予算に基づいた運営をしなければならず、予算と決算の差異が重視される計算書様式となっており、学校が永続性を確保するための収支均衡状態を目指すのに適した会計制度となっている。

##### 【資金収支計算書】

・当該会計年度（4月1日～3月31日）に行った諸活動に対する全ての収入と支出の内容を明らかにし、支払資金（現金預金等）の顛末を明らかにするものである。

資金収支計算書は、企業会計のキャッシュフロー計算書に近いもので、前年度から繰り越された支払資金を基に、当年度の収支の結果、翌年度に繰り越される支払資金が確定する計算体系になっている。

##### 【事業活動収支計算書】

・当該年度の事業活動収入と事業活動支出の内容と均衡状態を明らかにし、学校法人の経営状況を表す（収支バランスを捉える）ものである。資金の増減を伴わない取引（引当金、減価償却費等）は計上されるが、資本的支出（固定資産取得等）に充てる額は除いて計上する。本業である「教育活動収支」、本業外である「教育活動外収支」、臨時的な「特別収支」の3区分で収支の状況を把握し、分析することができる。

##### 【貸借対照表】

・当該年度末（3月31日）時点での資産・負債・基本金の状況を表し、財政状況を明らかにするものである。資金収支計算書と事業活動収支計算書が単年度の収支状況を表す一方、貸借対照表は今までの財政活動における積み重ね（累積）の結果を表示する。

##### 【経常収支差額】

・臨時的な特別収支を除く、経常的な収支バランスを表すもの。経常収支差額比率は、学校経営における利益の判断基準である。

##### 【基本金】

・学校法人の機能を維持し、安定的かつ永続的に経営することを目指すために組み入れる。

第1号基本金・・校地、校舎、機器備品、図書等の自己資金による固定資産の取得価額

第2号基本金・・将来の固定資産取得に充てる為の施設設備投資額（計画的に組み入れる）

第3号基本金・・基金として継続的に保持・運用する金額（本学園は奨学金基金）


第4号基本金・・恒常的な支払資金に対応する運転資金額（文部科学大臣の定める額）

# 監 査 報 告 書

令和6年5月20日

学校法人志學館学園  
理 事 会 御 中

学校法人 志學館学園

監 事 大 津 学 

監 事 久 永 修 平 

私たちは、私立学校法第37条第3項に基づく監査報告を行うため、学校法人志學館学園の寄附行為第15条の規定に従い、学校法人志學館学園の令和5年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）の、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況について監査を行った。

私たちは監査にあたり、理事会に出席するほか、私たちが必要と認めた監査手続を実施した。

監査の結果、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認める。

以上